

信濃川水系長野圏域河川整備計画（浅川）」原案に関する学識経験者からの意見聴取での意見及び県の考え方

項 目	主なご意見の内容	県の考え方等
安全性	<ul style="list-style-type: none"> 常用洪水吐き閉塞防止のため、ダム貯水池上流流木対策施設と常用洪水吐き流木止めは併用した方が良い。 平成7年の豪雨では姫川・裾花川・鳥居川等では、流木によって橋梁部が閉塞し、災害の原因となった。浅川はこれらの河川に比べると流域は小さいが、流木により穴あきダムが閉塞する恐れがあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの検討の中では、ご提案のとおり2段階で流木対策を行う方針です。最適な構造等については概略設計、水理模型実験を通じ、決定してまいります。 常用洪水吐の流木による閉塞を防止するため、湛水池最上流部での捕捉、洪水吐部での流入防止策を講じ、万全を期す方針です。構造等の詳細については、今後の設計の中で最適なものを検討していく所存です。
	<p>（平成19年6月12日 第3回学識経験者意見聴取で出された意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> 貯水池に大きな地すべりがあれば、斜面上部に滑落崖や地質の乱れが生じる。現地を確認したが、そのようなものは現地では確認できなかった。 F-V断層は活断層ではなく、ダムを造ったとしてもいたずらしない。 浅川ダムサイト付近の地質は、地すべりを起こした地附山の地質と同じ裾花凝灰岩である。しかし、風化の度合いが異なり、地附山では粘土化しているが、浅川は粘土化していない。地質が同じであっても斜面の成り立ちによって地下水の流れが異なるため、風化の度合いは異なる。従ってダム建設に支障となるものではない 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 河川の上流に行くに従って私どもの耕地がたくさんあるわけです。それから排水、その他に水を流さなくてはいけないということで、浅川の水を全部引いているわけでございます。ところが昔流の石を並べて引いているために、ひと雨ごとに流されてしまうと。これをなんとか恒久的なものに直した、その設備をつくっていただいた河川改修をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修工事に伴い、取水施設に影響が出る場合には、河川管理者が機能回復を行うことを前提に、詳細な構造等について管理者の皆様と協議を行いながら進めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> 現在、長野市と農業用排水機場の管理移管について協議を行っている。浅川排水機場については、今後どのようにしていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回増設する部分を含め、管理・運用等については関係者との協議をお願いし、これが確定したのち事業を開始したいと考えております。
	<ul style="list-style-type: none"> 浅川下流右岸流域の内水は、計画規模に近い出水（降雨時）には千曲川左岸堤防の漏水や昭和通り以南の長野市街地の排水の影響も受けます。また、立ヶ花で計画高水水位を超えた場合（現在の千曲川整備状況では、計画1/100年に対して、超える確率が極めて高い）千曲川には排水できなくなります。排水ポンプ増強は中小洪水には有効ですが、この対策により高度な土地利用が進むと、大洪水、とくに計画規模を上回る超過洪水時には被害を増大させます。これからの治水には、超過洪水対策は重要なテーマの一つに挙げられます。浅川の治水対策でも是非とも考慮していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご提案のとおり、超過洪水対策もこれからの治水を考えるうえで重要なテーマであると認識しております。超過洪水対策は、ハード対策のみでなく、ハザードマップや各種情報の迅速な伝達など、ソフト対策を含めた総合的な対策が必要であるとと考えております。
	<ul style="list-style-type: none"> 治水用穴あきダム計画地上部の展望台に、日本の川の自然や治水・利水等の特性について、子供たちや住民が学習できるような施設を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ダム・河川事業に関するPRは、完成後においても重要なことであると認識しております。管理棟の利用形態を含め検討してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ダム建設予定地内 現地の踏査は可能か 用地買収はこれからですか。 上から見た限りですが、民家のあるあたりで浅川沿いに小さいけれどややフラットと思われる場所が見受けられるが、試掘なり、現地踏査が必要と思われるかが可能ですか。小遺跡があるかも知れませんが。当長野市教委では踏査等は実施していないとのこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ダム建設予定地の用地については既に関済済みであり、穴あきダムに変更になっても買収範囲は変更ありません。 ダム予定地付近の現地踏査については、6月1日実施済み
	<ul style="list-style-type: none"> 他力橋～宇木橋間には浅川に接して、松ノ木田、浅川端の2遺跡がありますが、具体的な詳細設計ができていますか。 浅川改修は上記2遺跡以外にも予想されます。したがって、試掘なりが必要となりますが、今後の工事日程(予定)はいつ頃となりますか 	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度で工事を施工する他力橋付近については平成18年度に試掘し、特には何もありませんでした。他力橋～北部大橋までは根継工と河床を下げる工事です。北部大橋から残りの区間については平成19年度に詳細を実施します。埋蔵文化財に関する協議は、毎年度、次年度以降の工事計画をお示しして確認をいただいております。今後も引き続き確認をいただきながら進めてまいります。